

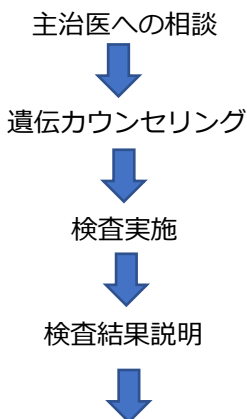
遺伝性の乳がん・卵巣がんを 血液で調べる検査

遺伝性 乳がん・卵巣がん検査 BRCAssure[®] ビーアールシーエーシュア

検査の目的	遺伝性乳がん・卵巣がんの原因となる遺伝子(BRCA1/2遺伝子)の変化について調べる
わかること	がんになりやすい遺伝的な要因を持っているかどうか
保険について	保険は適用されず自費診療
必要な検体	血液

BRCAssureを受ける前には、
必ず医師にご相談の上、
遺伝カウンセリングを受けてください。

検査までの手順は？



得られた検査結果をもとに、がんの早期発見に必要な検診や検査、あるいはがんになるリスクを減らすための医療を、あなただけでなく、あなたの家族についても考えることができます。

検査後の健康管理はどうしますか？

遺伝性のがんの可能性があることがわかった場合、次の項目について、考えることができます。

- ・より精密ながん検診の受診
- ・一般よりも早い年齢からのがん定期検診
- ・予防のための手術の必要性
- ・血縁者のリスクについての検討




検査の費用は？

主治医にご相談ください。

公的医療保険（健康保険）は適用できますか？

適用されません。詳細は中面をご覧ください。

 検査詳細は中面をご覧ください

遺伝性の乳がん・卵巣がんとは？

日本では毎年新たに約90,000人が「乳がん」、約13,000人が「卵巣がん」と診断されています。このうち遺伝性のがんは5～10%ほどといわれています。遺伝性の乳がん・卵巣がんの発症に深く関わりと考えられているのがBRCA1、BRCA2と呼ばれる2つの遺伝子（以下、BRCA遺伝子）です。

どちらも誰もがもっている一般的な遺伝子ですが、この遺伝子に生まれつき変化があると、変化のない人よりも、乳がんや卵巣がん、そのほか前立腺がん、すい臓がん、男性乳がんになるリスクが高くなることがわかっています。

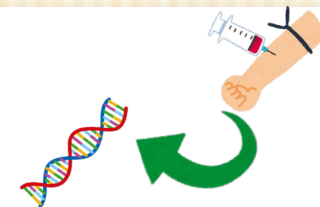
BRCA遺伝子の変化は家族と共有していることがあります。

・BRCA遺伝子の変化とがん発症リスク

BRCA遺伝子の変化によるがん発症リスク			
がんの種類	遺伝子に変化なし	BRCA1に変化あり	BRCA2に変化あり
乳がん	12%	50-80%	40-70%
卵巣がん	1-2%	24-40%	11-18%
男性乳がん	0.1%	1-2%	5-10%
前立腺がん	15%	30% (最大)	39% (最大)
すい臓がん	0.5%	1-3%	2-7%

検査の内容は？

本検査は採血のみで行われます。採取した血液からDNAを抽出し、DNAを解析する高度な装置を用いて、BRCA遺伝子のDNAに変化があるかどうかを調べます。遺伝子の変化の仕方でがんになりやすい遺伝的な要因を持っているかがわかります。



BRCA遺伝子の検査が考慮される方

下記の項目に一つでも当てはまる方は医師にご相談ください。

- ① ご本人や血縁者に、40歳未満で乳がんを発症された方がいる
- ② 年齢を問わずご本人や血縁者に卵巣がん（卵管がん、腹膜がん含む）の方がいる
- ③ 血縁者で、時期を問わず原発乳がん（転移、再発でない）を2個以上発症した方がいる
- ④ ご本人や血縁者に、男性乳がんを発症された方がいる
- ⑤ ご本人や血縁者を含め、乳がんを発症された方が3名以上いる
- ⑥ ご本人や血縁者に、トリプルネガティブの乳がんと診断された方がいる
- ⑦ ご本人や血縁者に、前立腺がんやすい臓がんになられた方がいる
- ⑧ 血縁者の中にBRCA遺伝子の変化が確認されている方がいる

保険適用？ 自費診療？

下記の場合は保険が適用される検査を受けることができますが、該当しない方や未発症の方は自費診療で検査を受けることができます。

保険適用

- ① 45歳以下で乳がん発症
- ② 60歳以下でトリプルネガティブ乳がん発症
- ③ 2個以上の原発性乳がん発症
- ④ ご本人が乳がんを発症していて、かつ第3度近親者内に乳がんまたは卵巣がん発症者が1名以上いる
- ⑤ 乳がんと診断された男性
- ⑥ 腫瘍組織によるがん遺伝子パネル検査の結果BRCA遺伝子の病的な変化をもっている可能性があるとして診断された方
- ⑦ ご本人が乳がんを発症していて、かつ家系内でBRCA遺伝子に病的な変化が認められている方
- ⑧ 卵巣がん、卵管がん、腹膜がんのいずれかを発症

自費診療

- ① 左記に該当しない方
- ② 未発症の方（BRCA遺伝子の変化が確認されている方の血縁者を含む）
- ③ その他医師の判断

本検査BRCAssureは
自費診療の検査です

検査の詳細は弊社HPをご覧ください

下記のQRコードからアクセスできます



<http://www.labcorp.co.jp/general/brca.html>

検査の前後には、必ず医師に相談し、
遺伝カウンセリングを受けてください。

医療機関名